

未来を担う子どもたちに**夢と希望**を！

令和6年度採用

山形県公立学校教員選考試験
説明会
(春のオンライン説明会)

本日はご参加いただきありがとうございます。
希望する校種や教科等を、チャットに入力してください。
ご協力をお願いいたします。

本日の内容

- 1 山形県の教育
- 2 職場環境
- 3 待遇
- 4 試験の変更点
- 5 試験の概要・結果
- 6 電子申請の手順
- 7 よくある質問

山形県教員採用試験HP



山形県教員採用ツイッター



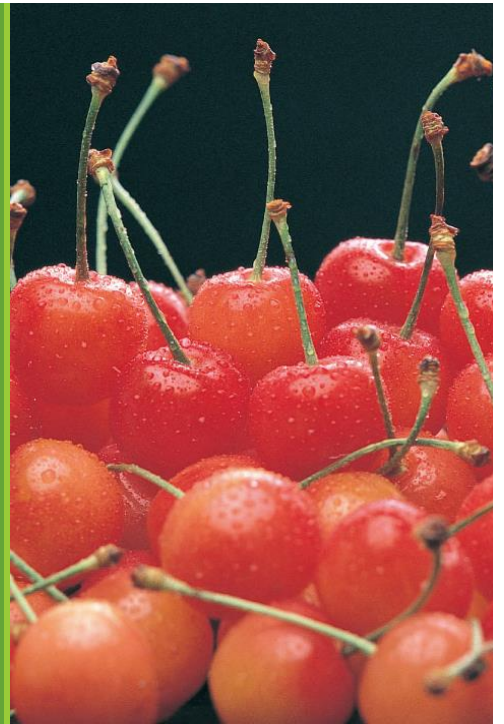
最後に質疑応答の時間があります。
遠慮なくお聞きください

山形県DC推進監
きてけろくん



1 山形県の教育

- 目指す教育
- 目指す教師像
- 特色ある教育



山形県の目指す教育

第6次山形県教育振興計画

【基本目標】

「人間力に満ちあふれ、
山形の未来をひらく人づくり」

【目指す人間像】

「いのち」をつなぐ人
学びを生かす人
地域をつくる人



採用時に求める教員の姿

1. 児童生徒への深い教育愛と教育に対する強い使命感、責任感のある方
2. 明るく心身ともに健康で、高い倫理観と規範意識を備え、法令を 遵守する方
3. 豊かな教養とより高い専門性を身につけるために、常に学び、自らを向上させる姿勢をもち続ける方
4. 山形県の教員として、郷土を愛する心もち、人とのつながりを大切にして、地域社会においてよりよい学校を築こうとする方

山形県教員指標



1 山形県の教育

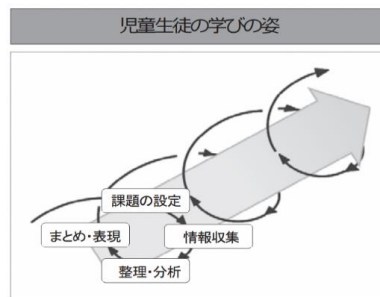
特色ある教育

○教育やまがた「さんさん」プラン

少人数学級のメリットを生かしたきめ細やかな指導の充実により、個の能力を最大限に伸ばし、「わかる授業」「いじめや不登校のない楽しい学校」を目指す

○探究型学習

- ・ 「課題の設定」「情報収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の一連の探究活動
- ・ 児童生徒の**主体的・協働的な学び**
- ・ 課題解決のために必要となる思考力・判断力・表現力等を育む



「個別最適な学び」「協働的な学び」

1 山形県の教育

2 職場環境

- 働き方改革
- 人材の活用
- 負担軽減に向けて



学校における働き方改革

～働き方改革プラン第Ⅱ期の重点の取組み～

- PDCAサイクルの構築
- 管理職や教職員の更なる意識改革と保護者等の理解促進
- ICTの有効活用
- 人材の確保及び外部人材の活用
- 業務の外部委託の推進
- 教育課程全体の見直し
- 部活動改革の推進

山形県公立学校における働き方改革プラン（第Ⅱ期・令和5～7年度）

第Ⅱ期の目標

- ① 半期における時間外在校等時間の月平均が80時間を超える教員数0人を目指す
- ② 年間における時間外在校等時間の月平均が45時間を超える教員数0人を目指す

【概要版】

<働き方改革の目的>

- 教職員の心身の健康保持
- ワークライフバランスの実現
- 活き活きと働ける職場環境づくり

教育活動の充実

第Ⅰ期の振り返り

- 授業準備 教材研究
- 校務分掌 ○部活動（中・高）

時間外在校等時間の人数

学年	令和4年度		令和5年度	
	人数	割合	人数	割合
小	87人	52人	16人	31人
中	445人	267人	80人	160人
高	2人	1人	0人	0人
計	441人	264人	80人	158人

月平均時間外在校等時間

学年	令和4年度		令和5年度	
	時間	割合	時間	割合
小	44:55	39:56	35:33	28:45
中	62:09	49:43	45:46	39:46
高	28:28	22:46	22:48	18:13
計	58:52	47:06	39:29	37:41

働き方改革アンケートから読み取れる現状

- ▲ 長時間勤務を是正しようとする雰囲気がないと感じている教職員がまだ多数を占める。
- ▲ 支援が必要な児童生徒・家庭への対応が、長時間勤務の原因になっていると感じている教職員が60%、管理職以外の教職員は35%を占める。
- ▲ 管理職による面談が時間外勤務の解消にはつながらず、必要を感じている教職員は82%に上る。
- ▲ 働き方改革の取組みをPTA総会等で説明していない学校が多数を占める。
- ▲ 地域やPTAの協力を得られる業務がまだ未だある（学校施設等の取組・管理、放課後の見回り、地域ボランティア等の活動調整等）。
- ▲ 部活動のガイドラインが厳格化されていない（活動時間、始業前指導等）。

第Ⅱ期の取組み方針と具体的な取組み内容

方針1 更なる意識改革

- 取組みの柱① PDCAサイクルの構築
- 学校における働き方改革取組状況チェックシートの活用
→ 学校における取組状況の把握と更なる改革に向けた具体的な取組みの実施
 - 管理職に対する人事評価（業績）における目標設定の徹底化

方針2 長時間勤務の要因への対応

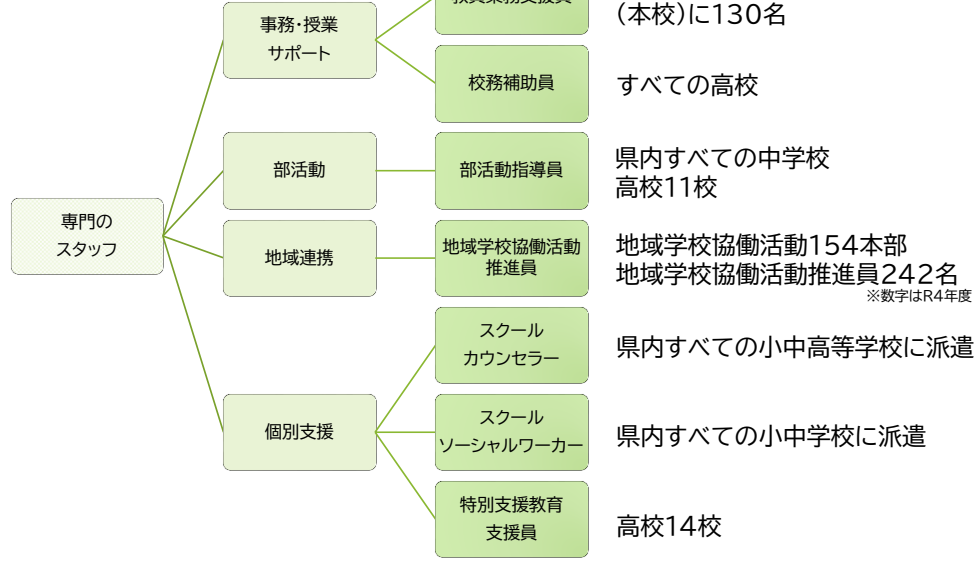
- 取組みの柱② ICTの活用促進
- 全県立高等学校へのデジタル拠点サービスの導入
→ 始業後と活用促進
 - ICTを活用した児童生徒の情報共有の推進
→ 統合型校務支援システムの生徒指導等への活用拡大
- 取組みの柱③ 人材の確保及び外部人材の活用
- 産学連携等の人材確保支援（バーチャルチャーター懇話会の開催、大学進学・大学生の非常勤雇用等）
 - 教員研修支援員や特別指導員等各種外部人材の配置の充実
 - スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの配置の充実
- 取組みの柱④ 業務の効率化の推進
- 学校・教員が担う業務の明確化・適正化の推進（学校取組金の公費化、情報連携の強化等）
- 取組みの柱⑤ 働き方改革の浸透
- 部活動ガイドラインの遵守の徹底
 - 部活動の在り方等の見直し（複数部活動、任意加入制等）
 - 勤務時間内の終了できる部活動の適切な運営に向けた教育関係者の検討

各学校

- 45時間超の教職員に対する、管理職による業務改善の具体的な指導
- 保護者・地域に対する働き方改革についての説明・周知の徹底
- 教職員一人一人の時間外在校等時間の可視化
- 学校・教員が担う業務の明確化・適正化の推進
- 教材の蓄積・共有化
- ICTを活用した児童生徒の情報共有
- チームによる児童生徒への個別対応等
- 小学校における教科担任制の導入
- 余剰時間の削減を含めた教育課程全体の見直し
- 部活動ガイドラインの遵守
- 部活動の在り方等の見直し（複数部活動、任意加入制等）
- 勤務時間内の部活動終了に向けた検討

取組みの強化・浸透 「取組み状況チェックシート」で進捗状況を把握・確認

人材の活用



左記以外にも、市町村独自に

- ・学習支援
- ・特別支援
- ・教育相談
- ・読書活動
- ・日本語指導
- ・外国語指導等々

を担当する方がたくさんいます。



さらなる負担軽減に向けて

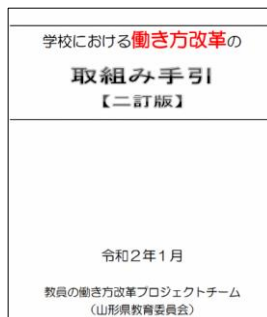
- **統合型校務支援システム**
校務処理の標準化、データ管理
- **留守番電話**
勤務時間外の電話対応
- **デジタル採点**
PC上でテストの採点、集計まで
- **欠席連絡、文書配布等をICT化**
始業前の電話対応削減、印刷等の業務削減
- **学校徴取金の公会計化**
未納等の処理
- **教育課程全体の見直し**
大卒新採の新規採用の授業準備時間確保
(新採支援プラン)

□ 「取組み手引」

各校での良い実践例をまとめ、さらなる改善に役立てる

□ 「働き方改革通信」

働き方改革の通信を発行し、意識啓発を図る



2 職場環境

3 待遇

- 給与等
- 休暇等
- 福利厚生



給与・手当

□初任給

	大学卒	大学院卒
山形県の行政職	194,700円	207,100円
山形県の教育職=教諭	222,560円	244,816円

教育職は教職調整額を含む。山形県内の大学卒初任給平均は令和3年の調査で約¥187,300円。初任給は職歴、経験年数を加算

□手当

- ・期末勤勉手当
4.35ヶ月分(令和4年度実績)を、6月と12月に分けて支給
- ・住居手当
例) 一ヶ月の家賃が¥50,000のアパートを借りた場合¥23,500
- ・扶養手当
扶養する配偶者、子、祖父母等がいる場合に支給
- ・通勤手当
通勤距離、通勤方法に応じて支給

他にも様々あります

4 待遇

休暇等

- 勤務時間
- ・週あたり 38時間45分(1日あたり7時間45分)
 - ・休日は、土曜日・日曜日、祝日、年末年始

□休暇・休業(主なもの)

休暇名	日数	備考
年次有給休暇	20日	翌年への繰り越しあり
夏季休暇	6日	7~9月に取得
リフレッシュ休暇	5日	満30、40、50歳
私傷病休暇	90日	生活習慣病休暇への引き継ぎあり
生活習慣病休暇	180日	がん等を含む生活習慣病や精神性疾患
忌引休暇	10日	1~10日の範囲
子ども看護休暇	5日	中学校就学前の子どもの看護 小学校就学前の子どもの健診、予防接種 等
家族看護休暇	5日	疾病、負傷のための看護
婚姻休暇	7日	新婚旅行等で取得する方が多い

3 待遇

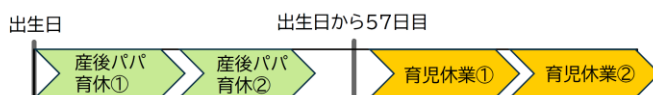
休暇等

令和4年10月1日から育児休業・育児参加休暇が
より柔軟に取得できるようになりました！

育児休業が最大4回まで分割して取得可能になります

育児休業について

- 子の3歳の誕生日の前日まで、育児休業を**原則2回**（改正前：原則1回）まで取得可能
※非常勤職員は、原則子の1歳の誕生日の前日まで
- 上記育児休業とは別に、子の出生の日から57日間以内にする育児休業（産後パパ育休）を**2回**（改正前：1回）まで取得可能



育児参加休暇の取得可能期間が**拡大**されます

育児参加休暇について

- 取得可能期間：**出産の日以後1年を経過する日まで**
（改正前：出産の日後8週間を経過する日まで）
※上の子を養育する場合、出産予定日の6週間前（多胎妊娠の場合14週間前）から取得可能
- 付与日数：5日間（時間単位での取得が可能）

3 待遇

福利厚生

- 採用と同時に「公立学校共済組合員」
- 検診事業（年1回の定期健康診断、人間ドック）
東北中央病院は山形県にあります
- 給付事業（病気、災害、厚生年金）
- 貸付事業（住宅、結婚、出産、教育）
- 健康相談、メンタルヘルス相談
- ライフステージに合わせた祝金、見舞金
- リフレッシュ推進（プロスポーツ体感、宿泊利用補助）



3 待遇

4 試験の 変更点



変更点

1. 実施要項の現物配付の(原則)廃止、電子申請による出願
2. 一部教科(国語・英語)の中学校・高等学校併願
3. 集団討議の廃止
4. 特別免許状の取得を前提とした高等学校「情報」の採用
5. 元職教員特別選考の志願資格緩和

変更点

1. 実施要項の現物配付の(原則)廃止、電子申請による出願

<従来> 実施要項(現物)の入手
特別選考、加点申請等に係る書類のダウンロード
郵送で提出・出願

<今年度> **実施要項**、特別選考、加点申請等に係る書類のダウンロード
山形県の**電子申請システム**による出願
顔写真、エントリーシート等は**電子データを登録**
特別選考、加点申請等に係る書類は**郵送(簡易書留)**で提出

※4月21日にHPにアップ

4 試験の変更点

変更点

2. 一部教科(国語・英語)の中学校・高等学校併願

<従来> 次の①、②の組合せのみ併願可能
①小学校 と 特別支援学校小学部
②中学校 と 特別支援学校中学部(同一教科)

<今年度> 次の③も含め、①～③の**いずれか**の組合せで併願可能
③**中学校 と 高等学校**(同一教科)

※③の併願は、**国語、英語**のみ可

※**国、英の問題は中高共通**となる

※中学校志願者が、特支中学部と高等学校を同時に併願することは不可

4 試験の変更点

変更点

3. 集団討議の廃止

<従来> ~R2採用(R1実施) → 一次試験で実施
一次試験の日程:1日目=筆記・実技(中高の該当教科のみ)
2日目=集団討議
R3~R5採用(R2~R4実施) → コロナにより休止

<今年度> **廃止**(コロナが収まっても実施しない)
※二次試験の個人面接において「場面指導等」を実施
(R5採用(R4実施)から)

4 試験の変更点

変更点

4. 特別免許状の取得を前提とした「高等学校情報」の採用

教員免許状がなくても、次の①~③を満たした場合、「社会人特別選考」で受験可能(合格した場合、「特別免許状」を取得する必要がある)

- ①大学で情報に関する正規の課程を修了
- ②情報に関連する**実務経験5年以上**
- ③情報関係の**資格**を所有

<資格要件>

応用情報技術者	データベーススペシャリスト
ITストラテジスト	エンベデッドシステムスペシャリスト
システムアーキテクト	ITサービスマネージャ
プロジェクトマネージャ	システム監査技術者
ネットワークスペシャリスト	情報処理安全確保支援士

4 試験の変更点

変更点

5. 元職教員特別選考の志願資格緩和

- <昨年度> H27.4.1～R4.3.31の間に、
本県で正規教員3年以上、退職後5年以内
<今年度> ・本県又は他県等の公立学校で正規教員3年以上
・勤務していた時期に関する規定は廃止

変更点

☆コロナによる変更点

- ・ 中学校、特支中学部、高校「保健体育」受験者の実技「水泳」は昨年度同様休止とします

(参考)

- ・ 小学校、特支小学部の実技「水泳」はコロナに関わらず廃止となっています

5 試験の概要 ・ 試験結果等



選考を行う校種等、教科・科目と採用見込数

校種等		教科・科目	採用数
小学校教諭 (小学校英語を含む)			約185名
中学校教諭		国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語	約85名
特別支援 学校教諭	小学部教諭		約25名
	中学部教諭	中学校教諭に同じ	
	高等部教諭	理療	
	高等部助教諭	理療	
高等学校	教諭	国語、地理、「世界史・日本史」、公民、数学、物理、化学、地学、保健体育、英語、情報、農業、機械、電気、建築、土木、工業化学、商業、看護	約35名
	助教諭	機械、電気、建築、土木、工業化学	
養護教諭			約15名
栄養教諭			若干名

選考区分

※合格者数はR4実施のもの

区分	志願資格	合格者数	
一般選考	特別選考の志願資格の方以外はこちら	201	
特別選考	講師等	本県の講師等(非常勤も含む)を、 通算13ヶ月 以上	40
	現職教員Ⅰ・Ⅱ	現在 、本県以外の公立学校において正規採用として、 3年以上 継続 ※ 3年目 の方も可	42
	大学推薦	校種等、教科・科目で、大学より1名(規定による)	40
	社会人	教科・科目と関連する実務経験を、 5年以上 継続 (英語、工業、情報、看護)	2
	前年度二次Bランク	前年度一次合格、二次不合格でBランクの方	20
	障がい者	障がいのある方	1
	スポーツ	国際大会出場、全国3位以上の指導実績 ※高校の保健体育のみ	1
	元職教員Ⅰ・Ⅱ	本県又は他県等の公立学校で正規採用として3年以上継続して勤務	志願なし

※ 元職・現職Ⅰ(高校以外)、元職・現職Ⅱ(高校)

5 試験の概要・結果

現職教員特別選考Ⅰ・Ⅱ

○志願資格

- ・(全選考区分共通) 学校教育法第9条の欠格事由及び地方公務員法第16条の欠格条項に該当しない者
- ・**昭和49年4月2日**以降に出生した者
- ・令和6年3月31日時点で、本県以外において、**志願する校種・教科・科目又は養護教諭・栄養教諭の職**で、**国立大学法人附属学校並びに公立の**小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校の正式採用教員*として、**3年以上**継続して在職している者
*正式採用教員とは期限を付さないで採用された者

5 試験の概要・結果

現職教員特別選考Ⅰ・Ⅱ

○選考区分の違い

- ・ 現職教員特別選考Ⅰ

- ➡ 小学校、中学校、特別支援学校、養護教諭、栄養教諭

一次試験は全て免除

二次試験のうち、「実技試験」免除

- ・ 現職教員特別選考Ⅱ

- ➡ 高等学校

一次試験のうち、「教職教養・一般教養」免除

5 試験の概要・結果

現職教員特別選考Ⅰ・Ⅱ

○提出書類

- ・ 在職証明書

- ➡ 様式を県ホームページからダウンロード

任命権者に作成を依頼

厳封親展にて提出

- ・ 勤務状況調書

- ➡ 様式を県ホームページからダウンロード

所属長に作成を依頼

厳封親展にて提出

5 試験の概要・結果

元職教員特別選考Ⅰ・Ⅱ

○志願資格

- (全選考区分共通) 学校教育法第9条の欠格事由及び地方公務員法第16条の欠格条項に該当しない者
 - **昭和38年4月2日**以降に出生した者
 - **志願する校種・教科・科目又は養護教諭・栄養教諭の職**で、本県または他の都道府県および政令指定都市の**国立大学法人附属学校並びに公立**の小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校、高等学校及び特別支援学校の正式採用教員*として、**3年以上**継続して勤務した経験のある者
- *正式採用教員とは期限を付さないで採用された者

5 試験の概要・結果

元職教員特別選考Ⅰ・Ⅱ

○選考区分の違い

- 元職教員特別選考 **Ⅰ**
 - ➔ 小学校、中学校、特別支援学校、養護教諭、栄養教諭

一次試験は全て免除
二次試験のうち、「実技試験」免除

- 元職教員特別選考 **Ⅱ**
 - ➔ 高等学校

一次試験のうち、「教職教養・一般教養」免除

5 試験の概要・結果

元職教員特別選考 I・II

○提出書類

- ・ 職歴証明書

➡ 様式を県ホームページからダウンロード

任命権者に作成を依頼

厳封親展にて提出

5 試験の概要・結果

試験項目・内容

試験	試験項目	時間	具体的内容
一次試験	教職教養・一般教養	80分	教育法規、教育心理等の教職教養 と 一般教養
	小論文	80分	指定されたテーマについて、1000字以内で論述
	教科・科目	110分	出願した教科・科目の内容 (実技がある教科・科目では、90分で実施)
	実技試験	－	一部の校種等、教科・科目のみ
二次試験	個人面接1・2	－	面接官数名と受験者との面接 「場面指導等」を含む
	作文	－	指定されたテーマについて、800字以内で作文
	実技試験	－	小学校と特別支援学校小学部 英語と音楽の選択

校種等、教科・科目、選考区分によって、試験内容は異なります。

5 試験の概要・結果

選考区分と試験項目

□一次試験

	一般選考	特別選考				現職・元職Ⅰ 前年度一次
		現職・元職Ⅱ 大学推薦	講師等 社会人	スポーツ	障がい者	
教職教養 ・一般教養	○	免除	—	免除	○	免除
小論文	—	—	○	○	—	
教科・科目	○	○	○	免除	○	
実技試験	○	○	○	免除	○	
面接	—	—	—	○	—	

5 試験の概要・結果

実技試験のある校種等

※R4実施のもの

校種等、教科・科目		試験内容	
一次	中学校	音楽	・新曲視唱、新曲視奏、ピアノ演奏、歌唱指揮 ・随意曲選択演奏(歌唱または器楽)
		美術	・水彩画
	中学校 高等学校	保健体育	・次の領域から2領域選択 陸上競技、器械運動、球技(バレーボール、バスケットボール、 サッカーのうち1種目)、武道(柔道、剣道のうち1種目)、ダンス
	中学校	技術	・木材加工、回路の製作
	中学校 高等学校	家庭	・調理、裁縫
		英語	・英語による面接
養護教諭		・場面对応	
二次	小学校 特支小学部	音楽(伴奏譜によるピアノ演奏) か 英語(英語による簡単な自己紹介と日常会話) のいずれかを選択	

小学校・英語の
実技について



5 試験の概要・結果

実技試験のある校種等

※R4実施のもの

校種等、教科・科目		試験内容	
一 次	中学校	音楽	・新曲視唱、新曲視奏、ピアノ演奏、歌唱指揮 ・随意曲選択演奏(歌唱または器楽)
		美術	・水彩画
	中学校 高等学校	保健体育	・次の領域から2領域選択 陸上競技、器械運動、球技(バレーボール、バスケットボール、サッカーのうち1種目)、武道(柔道、剣道のうち1種目)、ダンス
	中学校	技術	・木材加工、回路の製作
	中学校	家庭	・調理、裁縫
	中学校 高等学校	英語	・英語による面接
	養護教諭	・場面对応	
二 次	小学校 特支小学部	音楽(伴奏譜によるピアノ演奏) か 英語(英語による簡単な自己紹介と日常会話) のいずれかを選択	

5 試験の概要・結果

作文(二次試験)のテーマ

※R4実施のもの

- 子どもと学ぶ教師とは
- 郷土の魅力を伝える指導で大切なこと
- 「いのち」を大切にすることができる生徒の育成とは
- 「人間力に満ちあふれる」児童・生徒の姿とは
- 学校行事を通じて指導したいこと
- 思いやりの心を育む教育とは

過去問の
入手方法

過去3年分の問題等は、山形県庁1階「行政情報センター」で閲覧・複写できます
電子申請による請求もできます
詳しくは→<https://www.pref.yamagata.jp/documents/31285/kakomon-get.pdf>



5 試験の概要・結果

一次試験の配点

		教職教養・一般教養	教科・科目	実技試験
小学校、特支小学部		100点	150点	－
中学校 特支中学部	実技あり	100点	100点	50点
	実技なし	100点	150点	－
高等学校 特支高等部	実技あり	100点	200点	100点
	実技なし	100点	300点	－
	スポーツ特選	小論文120点、面接280点		
養護教諭		100点	100点	50点
栄養教諭		100点	150点	－

5 試験の概要・結果

二次試験の配点

	個人面接1	個人面接2	作文	実技試験
小学校、特支小学部	210点	140点	50点	50点
中学校、特支中学部 高等学校 特支高等部 養護教諭 栄養教諭	210点	140点	50点	－

あなたの配点

一次試験()点 : 二次試験()点

5 試験の概要・結果

加点制度

	加点要件	小	中	特小	特中	特高	高	養	栄
①	「数学」、「理科」、「音楽」、「 保健体育 」、「英語」の免許状	5							
②	受験教科以外の中学校の免許状		5						
③	受験教科以外に「情報」の免許状			10	10	10	30		
④	受験教科以外に「福祉」の免許状					10	10		
⑤	「世・日」または「地理」受験者で、「公民」の免許状						5		
⑥	「公民」受験者で、「地理歴史」の免許状						5		
⑦	受験教科以外で「数学」または「理科」の免許状			10	10	10			
⑧	特支5領域すべての免許状			10	10	10			
⑨	「視覚」、「聴覚」から1+「知的」「肢体」「病弱」から2			5	5	5			
⑩	特支の免許状	10	10				10		
⑪	英検2級、TOEFL iBT 65点、TOEIC 600点	10		10					
⑫	「英語」受験者で英検準1級、TOEFL iBT 80点、TOEIC 730点		10		10		10		
⑬	司書教諭の資格を持っている(見込での加点はしない)	5	5	5	5	5	5	5	5

加点申請者 = **185名**

5 試験の概要・結果

併願制度

次の組合せ①～③において、一方の校種を第一志望、他方の校種を第二志望として出願できます。

組み合わせ①

「小学校」と「特別支援学校小学部」

← 小学校と特別支援学校の両方の免許状が必要

組み合わせ②

「中学校」と「特別支援学校中学部」

← 中学校と特別支援学校の両方の免許状が必要

組み合わせ③ **NEW**

「中学校」と「高等学校」(国、英のみ)

← 中学校と高等学校の両方の免許状が必要

・ポイント①

「小」と「特支小」の**教科・科目**の問題は**同じ**

「中」と「特支中」の**教科・科目**の問題は**同じ**

「中」と「高」の**教科・科目**の問題は**同じ** ※国、英のみ

・ポイント②

第一志望を特支小中、第二志望を小中で併願する方は、**第二志望で必ず加点申請**できます

5 試験の概要・結果

小学校英語

小学校の英語教育の充実を目指しています



- 英語の専科指導教員や学級担任として、小学校の英語教育を推進する役割を担う教員を採用
- 志願要件は、小学校のほかに、中または高の英語の免許所有
- 試験項目は小学校と同じ。二次試験の実技試験は英語選択が必須
- 始発期は学級担任としての力量を高めます。初任研は小学校の方と一緒に
(初任～3年目)

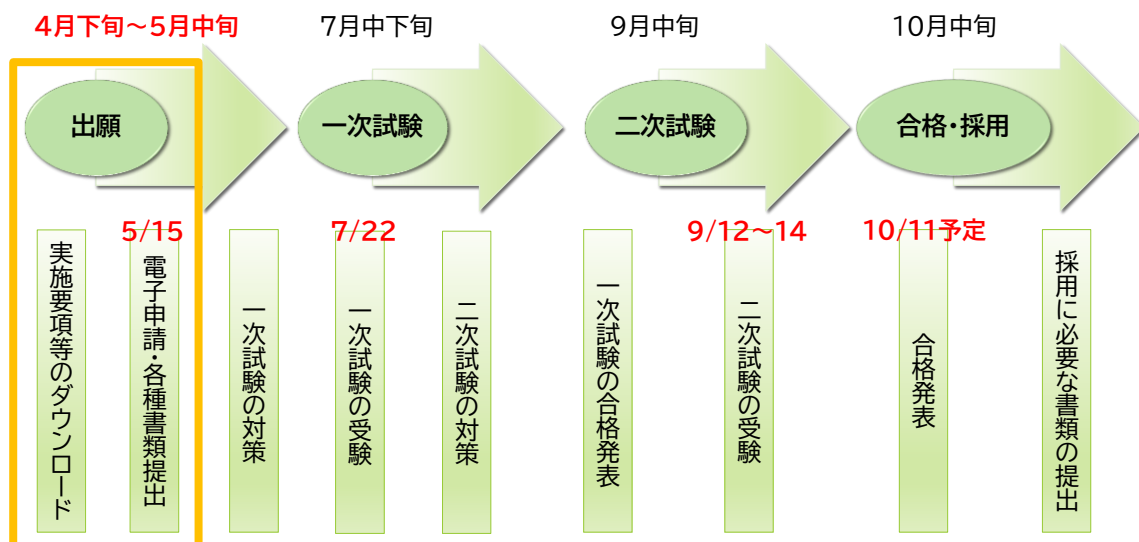
※ 採用当初から「英語専科」や「英語の教科担任」とは限りません

※ 「小学校英語」で選考漏れとなった場合でも、「小学校」で採用される可能性があります

5 試験の概要・結果

スケジュール

～合格へのロードマップ～



5 試験の概要・結果

必要な手続き

① 「実施要項」「エントリーシート」をダウンロードする

※願書公開開始：令和5年4月21日

※ダウンロードできない場合は現物配付

② 「電子申請」で必要事項を入力する

※電子申請期間(予定)：令和5年4月24日～5月15日

※エントリーシートも電子データを電子申請システムに登録

(該当者のみ)

③ 各種提出書類をダウンロードし、作成する

※加点申請書、特別選考関係書類は郵送(簡易書留)で提出(5月15日消印有効)

5 試験の概要・結果

必要な手続き

詳細は山形県HPをこまめにチェック！

ホームページの確認が抜け落ちそうで心配……

教員採用
Twitter



山形県HP
(教員採用)



県HPの更新



Twitterで
必ずつぶやきます！

5 試験の概要・結果

ダウンロードが必要な書類

対象者	ダウンロードが必要な書類	提出方法
全員	エントリーシート	電子申請システムに 電子データを登録
講師等特選受験者	職歴申告書	郵送 (簡易書留)
現職教員 特選受験者	在職証明書★ 勤務状況調書◎	
元職教員特選受験者	職歴証明書★	
スポーツ特選受験者	スポーツ特別選考調書	
大学推薦特選受験者	推薦書☆	
加点申請者	加点申請書	★:採用された自治体の教育委員会が作成 ☆:大学の教授等が作成 ◎:所属長が作成

一次試験

令和5年度実施日:令和5年7月22日(土)

① 会場

- 山形中央高校 (小学校、特支小学部、各校種等の「保健体育」)
- 山形北高校 (各校種等の「音楽」)
- 山形県教育センター (各校種等の「技術」)
- 上山明新館高校 (上記以外)

② 日程

- 午前
「教職教養・一般教養(小論文)」 → 「教科・科目」
- 午後
「実技」 ※実技のない方は午前で終了

二次試験 令和5年度実施日:令和5年9月12日(火)~9月14日(木)

① 会場

□山形県教育センター

② 日程

□3日間のうち、指定された半日

□「個人面接1・2」*「作文」「適性検査」 *場面指導等を含む

□小学校と特支小学部の「実技」は、別の日に実施

小・特小の場合	9月12日(火)	9月13日(水)	9月14日(木)
パターンA	作文・面接・適性 (半日)	実技	—
パターンB	—	実技	作文・面接・適性 (半日)

5 試験の概要・結果

6 電子申請
の手順



電子申請について

1. まずは、「**電子申請の手引き**」を準備しましょう！ HPからダウンロード。

2. 電子申請を始める前に、準備しておくといもの

① 顔写真の**電子データ**

- ・スマホで撮ったものでも使えます。
- ・コンビニ前に設置されている証明写真機でも、電子データをアプリに保存できる。
- ・街の写真屋さんでも、「電子データください」と伝えればOK！

② 入力済みのエントリーシート

- ・今年度から**Wordで作成したものをアップすることができる**！
- ・「**手書きが良い**」という方は、**書いたものをPDFなどにすればOK**！

文字の濃さや太さに注意して！

6 電子申請の手順

電子申請の手順

○ あると便利・印刷できる環境

- ・必須ではないが、入力後確認用のPDFが出力される。(画面上での確認は可能)
- ・6月1日以降、受験票のダウンロードの際にはプリンター等必ず必要になるため、注意が必要。

ー入力全般にわたる注意ー

アルファベットや数字は全て「**半角入力**」

出願にかかる電子申請上の注意

- (電子申請ではなく志願書に直接記載して出願する場合も、電子申請に準じるものとする。)
- 入力事項に不正があるときは、教員としての任用資格を失うことがあるので正確に入力すること。
 - (以下の2点は志願書に直接記載して出願する場合の注意)
 - 受験票に写真を貼付する際には、写真の裏面に氏名を記入した上でより付けし、**写真の存在を必ず裏面のハンダテープでとめること。**
 - 志願書、受験票及び体育実技試験選択希望記入票は裏の**ボールペン**で記入すること。

電子申請を始める前に準備しておくといもの

- ・顔写真の電子データ：後ほどデータを登録します。(参照「27 顔写真の登録」)
- ・エントリーシート：ホームページからダウンロードして記入済のもの、またはデータを登録します。(参照「28 エントリーシートの登録」)
- ・必要に応じてプリンター（印刷できる機能）があると便利です。入力完了後にPDFデータが出力されます。印刷して登録内容を確認することができます。なお、印1以降に登録された受験票を出力する際は、印刷機能が必要となります。

電子申請上の注意点		電子申請の画面
全般にわたる注意 アルファベットや数字は「半角」で入力してください。 ※ パソコン入力の場合、「F10」キーを押すと、半角数字に変更されます。		
1 申請者氏名 氏名を正確に入力してください。		申請者氏名 姓 名
2 フリガナ 氏名の読み方(フリガナ)を、 変換力半角大 で入力してください。 ※ パソコン入力の場合、「F8」キーを押すと、半角カタカナに変更されます。		フリガナ フリガナ フリガナ
3 性別【必須】 該当する性別の一方を選択してください。 ※ 中学校、特別支援学校中学校、高等学校の候補教員試験の志願者は、必ず回答してください(現職試験に関わるため)。		性別 性別

6 電子申請の手順

電子申請の手順

11 加点申請

加点における注意点

① 加点は「申請」

※資格・免許等があっても自動的に加点はされません。

② チェックを入れただけではダメ

→別途郵送による書類の提出が必要

③ 第2志望がある場合は、特に注意。

※第1志望で該当しなくても、第2志望で該当する場合も。

11 加点申請の有無 加点申請がある場合はチェックを入れてください。 10で詳細説明の希望がある応募した場合は、第2志望における加点申請の有無についても回答してください。 ※ チェックを入れただけでは「加点申請」を完了したことになりません。郵送、郵送による書類の提出が必要です。	加点申請の有無 11で申請したい場合は、「 <input type="checkbox"/> 」 第2志望における加点申請の有無 11で申請したい場合は、「 <input type="checkbox"/> 」
12 職務経歴等の意向確認連絡の可否 選考が終了後、採用教員等の意向確認の電話やメール等を通してよりよろしければ「可」を選んでください。	職務経歴等の意向確認の可否 12で申請したい場合は、「 <input type="checkbox"/> 」 12で申請したい場合は、「 <input type="checkbox"/> 」
13 国籍 日本国籍を有しない場合は、国籍を入力してください。	国籍 13で申請したい場合は、「 <input type="checkbox"/> 」
14 電話番号（携帯・固定） 普段、連絡が付きやすい電話番号を、少なくとも一方は入力してください。 ※ ハイフンの有無は問いません。 【例】012-345-6789、0123456789いずれも可 ※ ここで入力いただいた電話番号へ、教員選考試験担当から連絡を差し上げる場合があります。機密にかなうようにお願いいたします。また、番号があった場合は割り当てお電話いただけるようお願いいたします。	電話番号（携帯） 14で申請したい場合は、「 <input type="checkbox"/> 」 電話番号（固定） 14で申請したい場合は、「 <input type="checkbox"/> 」
15 メールアドレス 電子メールで連絡をしてもよい場合は入力してください。 ※ 可能な限り入力いただくようお願いいたします。	メールアドレス 15で申請したい場合は、「 <input type="checkbox"/> 」
16 履歴書 履歴書を、半角数字で入力してください。ハイフンは不要です。 現在所については、都道府県名から正確に入力してください。	履歴書（姓） 16で申請したい場合は、「 <input type="checkbox"/> 」 履歴書（名） 16で申請したい場合は、「 <input type="checkbox"/> 」
17 その他の連絡先・郵便番号・電話番号 16以外で、連絡の取れるところ（郵便先、勤務先等）を入力してください。無い場合、入力は不要です。	その他の連絡先 17で申請したい場合は、「 <input type="checkbox"/> 」 郵便番号 17で申請したい場合は、「 <input type="checkbox"/> 」 電話番号 17で申請したい場合は、「 <input type="checkbox"/> 」

6 電子申請の手順

電子申請の手順

19 最終学歴

- すべての学校を完全に網羅できない
→該当する学校名が無い場合、「その他」を選択
- その後、正式名称を入力
- 年月日は半角数字で入力

11 加点申請の有無 加点申請がある場合はチェックを入れてください。 10で詳細説明の希望がある応募した場合は、第2志望における加点申請の有無についても回答してください。 ※ チェックを入れただけでは「加点申請」を完了したことになりません。郵送、郵送による書類の提出が必要です。	加点申請の有無 11で申請したい場合は、「 <input type="checkbox"/> 」 第2志望における加点申請の有無 11で申請したい場合は、「 <input type="checkbox"/> 」
12 職務経歴等の意向確認連絡の可否 選考が終了後、採用教員等の意向確認の電話やメール等を通してよりよろしければ「可」を選んでください。	職務経歴等の意向確認の可否 12で申請したい場合は、「 <input type="checkbox"/> 」 12で申請したい場合は、「 <input type="checkbox"/> 」
13 国籍 日本国籍を有しない場合は、国籍を入力してください。	国籍 13で申請したい場合は、「 <input type="checkbox"/> 」
14 電話番号（携帯・固定） 普段、連絡が付きやすい電話番号を、少なくとも一方は入力してください。 ※ ハイフンの有無は問いません。 【例】012-345-6789、0123456789いずれも可 ※ ここで入力いただいた電話番号へ、教員選考試験担当から連絡を差し上げる場合があります。機密にかなうようにお願いいたします。また、番号があった場合は割り当てお電話いただけるようお願いいたします。	電話番号（携帯） 14で申請したい場合は、「 <input type="checkbox"/> 」 電話番号（固定） 14で申請したい場合は、「 <input type="checkbox"/> 」
15 メールアドレス 電子メールで連絡をしてもよい場合は入力してください。 ※ 可能な限り入力いただくようお願いいたします。	メールアドレス 15で申請したい場合は、「 <input type="checkbox"/> 」
16 履歴書 履歴書を、半角数字で入力してください。ハイフンは不要です。 現在所については、都道府県名から正確に入力してください。	履歴書（姓） 16で申請したい場合は、「 <input type="checkbox"/> 」 履歴書（名） 16で申請したい場合は、「 <input type="checkbox"/> 」
17 その他の連絡先・郵便番号・電話番号 16以外で、連絡の取れるところ（郵便先、勤務先等）を入力してください。無い場合、入力は不要です。	その他の連絡先 17で申請したい場合は、「 <input type="checkbox"/> 」 郵便番号 17で申請したい場合は、「 <input type="checkbox"/> 」 電話番号 17で申請したい場合は、「 <input type="checkbox"/> 」

6 電子申請の手順

電子申請の手順

25 職歴

・**職歴欄(10個)に入力しきれない時**

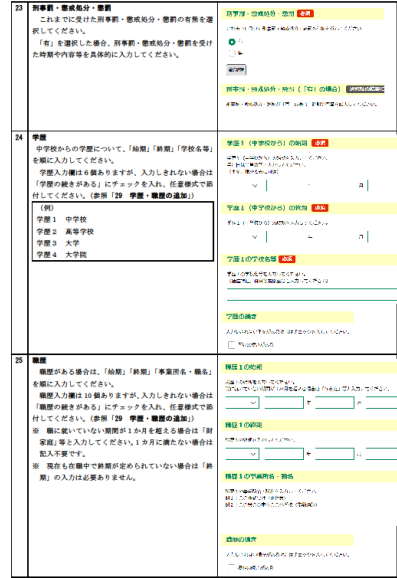
→ 「**職歴の続きがある**」にチェック

職歴を**任意様式**で作成し、追加添付する。

※職に就いていない期間が1カ月を超える場合は「**在家庭**」等と記入。1カ月に満たない場合は記入不要。

例 平成30年3月30日までの講師で任用され、
平成30年4月1日から再び講師で任用された。

→1日だけ空白がある場合などは、記入不要。



6 電子申請の手順

電子申請の手順

27 顔写真の登録

・ファイル名は「**氏名+生年月日(西暦)8桁**」

例 「**出羽雪若丸20010512**」

※姓名の間や生年月日との間にスペースは不要。

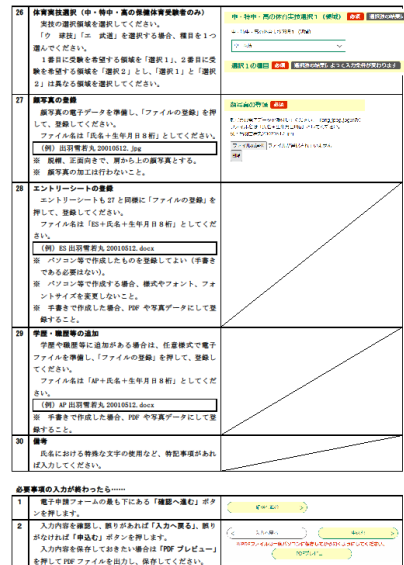
28 エントリーシートの登録

・ファイル名は

「**ES+氏名+生年月日(西暦)8桁**」

例 「**ES出羽雪若丸20010512**」

PCで作成可。ただし、その場合**様式やフォントサイズは変更しないこと。**



6 電子申請の手順

電子申請の手順

- ・全ての入力終了したら「確認へ進む」
- ・完了するとPDFが出力される。
- ・「整理番号」と「パスワード」は、
受験票をダウンロード(印刷)する際に必要。

The screenshot shows a two-step process. Step 1: A confirmation screen with the text '申込み完了後に誤りに気づいたら...' and instructions to click '確認へ進む' (Proceed to Confirmation). Step 2: A screen for downloading the application form, with the text '申込み完了後に誤りに気づいたら...' and instructions to click '印刷' (Print) and 'ダウンロード' (Download). The download button is circled in red.

※ もしも入力完了後に誤りに気づいたら…
「やまがたe申請」トップページから「申込内容照会」をクリック。→案内に従って修正する。(上記番号とパスが必要)
訂正後必ず教職員課に電話にて連絡してください。

6 電子申請の手順

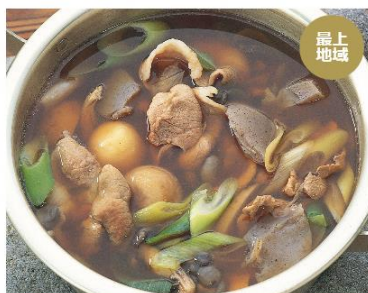
7 よくある質問



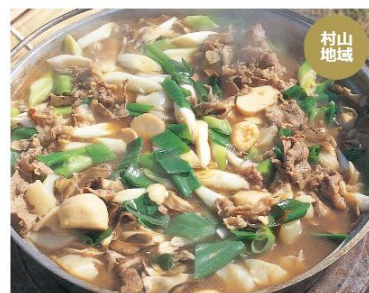
豚肉・味噌味



牛肉・しょう油味 (かくし味に味噌)



牛肉・しょう油味



牛肉・しょう油味

採用延期制度

- 合格後、期日までに**採用延期願**を提出すれば、合格の権利をもったままで大学院へ進学、または大学院での修学を継続できる
- 大学院在学中に、**合格した校種等の専修免許状を取得**すること
- 以下の条件(どちらか)にあてはまっていればよい

<条件>

1. 教職大学院、専修免許状の取得可能な大学院または修士号取得可能な海外の大学院に進学予定の合格者 → 2年延期
2. 大学院修士課程*1年次に在学中の合格者 → 1年延期

※ 延期期間終了までに専修免許状が取得できない → 採用無効

7 よくある質問

出願についてのQ&A

Q: 小学校の実技試験は、**音楽と英語**のどちらを選択した方が有利ですか？

A: どちらを選択しても、有利不利はありません。
自分の力をより発揮できる方を選択してください。

Q: 出願時に選択した実技試験(校種等)を、**後から変更**することはできますか？

A: できません。出願前によく検討して選択してください。

Q: **出願後**に英語資格の結果が届く場合は、**加点申請**を行うことはできますか？

A: できません。出願時点で英語資格の証明書の写しの提出が必要です。

Q: **司書教諭**講習の単位を年度内に取り終える予定です。**加点申請**を行うことはできますか？

A: できません。出願時点で司書教諭講習修了証書の写しの提出が必要です。

7 よくある質問

出願についてのQ&A

Q: 大学の通信課程で特別支援学校教諭の免許状を取得しようとしています。大学からは「**免許状取得見込証明書は出せない**」と言われましたが、加点申請はできますか？

A: (残念ながら) **できません**。

Q: 小学校の免許を所有しており、現在、大学の通信課程で特別支援学校教諭の免許状を取得しようとしています。**特支学校小学部を志願**することはできますか？

A: **できます**。ただし、合格後、**免許状が取得できない場合は採用できません**ので御注意下さい。

Q: 前年度「小学校」で受験し、二次で不合格となりました。今年度は「**前年度二次Bランク特選**」で受験しようと考えていますが、「**特支小学部**」を**併願**することはできますか？

A: (残念ながら) **できません**。前年度特選は、**前年度と同じ校種を受験する場合に限り有効**です。

7 よくある質問

HPは、更新されますのでチェックを！

「山形県」→「資格・試験・採用」→「山形県公立学校教員の採用について」

いつでも、何でも**相談**してください！！

山形県教育局教職員課(県庁13階)

教員採用試験担当(働き方改革推進)	023-630-3406
小学校・中学校・特別支援学校	023-630-2864
高等学校	023-630-2863

臨時教員(講師等)は常に募集中！！

365日**常に募集**しており、**随時任用**(採用)しています
登録票(履歴書)を提出した方と相談して、任用する学校が決まります
フルタイムから数時間、一年間から年間数日と様々な任用があります

最後にお知らせです



本日参加いただいたみなさんと
共に働けることを楽しみにしています